

ち ず み せ かい 地図で見る世界の子どもたちのようす

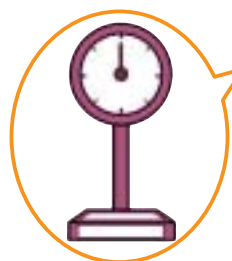
健康けんこうに生まれて、
元気げんきに育そだって、
学校がっこうに行くのは、あたりまえのこと？



©UNICEF/HQ99-0990/Jim Holmes

2002年世界子供白書から

栄養が十分足りていない子どもたち



5歳さいになる前まえの子どものうち、体重たいじゅうが標準ひょうじゆんよりも軽い子どもの割合わりあいが25パーセント以上の国くに(1995-2000)

*いま、世界せかいでは1億4,900万人まんにんの子どもの栄養えいよう不良ふりよう(栄養が十分に足りていないこと)です。その3分の2はアジア地域の子どもたちですが、アフリカでも栄養不良の子ども数は増えています。



©UNICEF/HQ93-1981/Giacomo Pirozzi

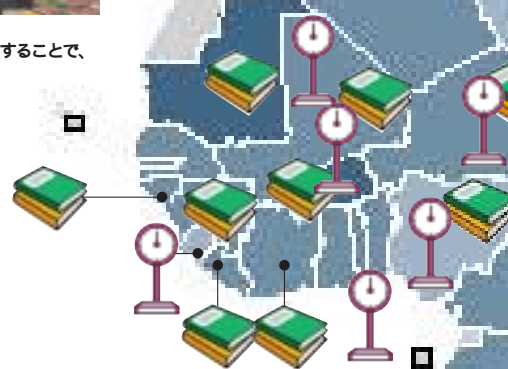
栄養不良は、定期的に体重をはかって記録することで、早く見つけることができます。

学校に行けない子どもたち



小学校しょうがくに入学にゅうがくしたり、通かよったりできない子どもが、60パーセント以上いる国

*学校がっこうに通える子どもたちの割合わりあいは高たかくなってきていますが、それでもまだ1億人以上の子どもの小学校に通えずにいます。そしてそのうちの57パーセントが女の子です。



わたしが6年間通った学校は、ずっと汽車の車両くるまだった。とても勉強べんきやうできるようなところではなかった。窓まどにガラスはなく、夏なつは暑あつすぎ、冬ふゆは寒さむすぎた。手袋てぶくろもなく、書くこともできなかった。1時間か2時間、寒さの中で授業じゆぎやうをすると、先生せんせいは私わたしたちを家に帰かえしてしまった。

イサ、17歳 アゼルバイジャン

13歳のときにお金かねがなくて学校がっこうをやめたわ。15歳さいになって学校がっこうにもどうも思おもったけど、もう受け入れてもらえなかったの。

エイリン 15歳 コスタリカ

食べるものも十分じゆうぶんにないのに、どうして学校がっこうに行けるといふの？

まちで物売りものうりをする子ども 12歳
エチオピア

世界の子どもたちの学校に行きたい声

ずっと石切り場いしきりばではたらいていたの。何かしら理由りゆうをつけては、いつもなぐられた。とうさんの借金しゃっきんはいつまでたってもへらなかつた。何年なんねんもはたらいてようやくNGOのびとの人が助たすけてくれたの。今は、教育きやういくを受けることがどんなに大切たいせつかわかるわ。今なら、だれもわたしやわたしの家族かぞくに、何も書かいていない紙かみにサインさせて奴隷しごのような仕事をさせたりできないもの。

カウシャーリヤ 14歳 インド

いい教育きやういくを受けられる特権とくけんみたいなチャンスチャンスに恵めぐまれた子ども、そういうチャンスチャンスを与あたえることができる人もいる。だけど、そういうチャンスチャンスを奪うばわれて、はたらいている子どももいる。親おやから見れば、勉強べんきやうするかわりに、はたらいてお金をかせいでくれればありがたいでしょう。だけど、勉強べんきやうすることは将来しやうらいの家族かぞくのためになるのです。いろいろな意味いみでお金かねには代かえられないようなものに。

ディープティ 17歳 インド

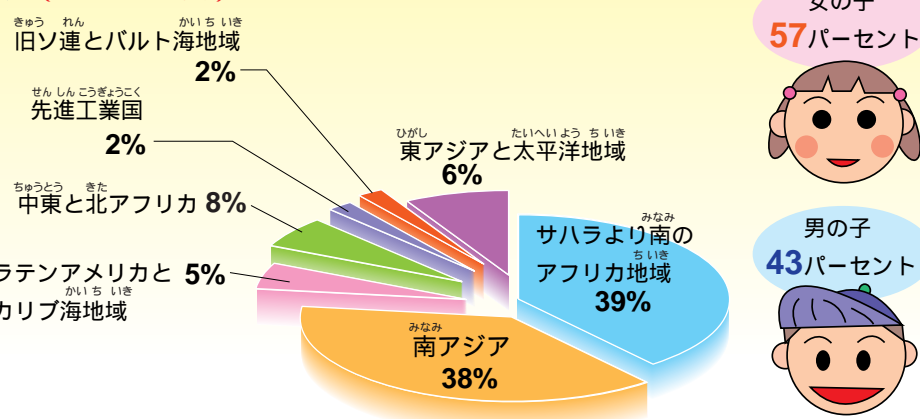


©UNICEF/HQ99-0623/Giacomo Pirozzi

どうして学校に行けない子どもの57%は女の子なの？



小学校に通っていない子どもはどの地域に多いの？ (1998年 地域別)

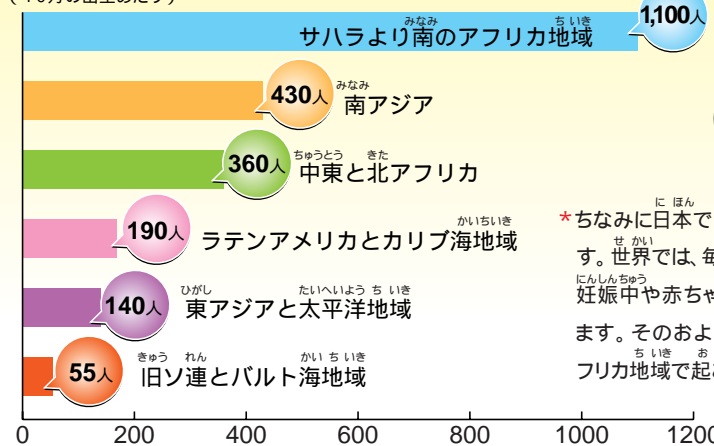


女の子 57パーセント

男の子 43パーセント

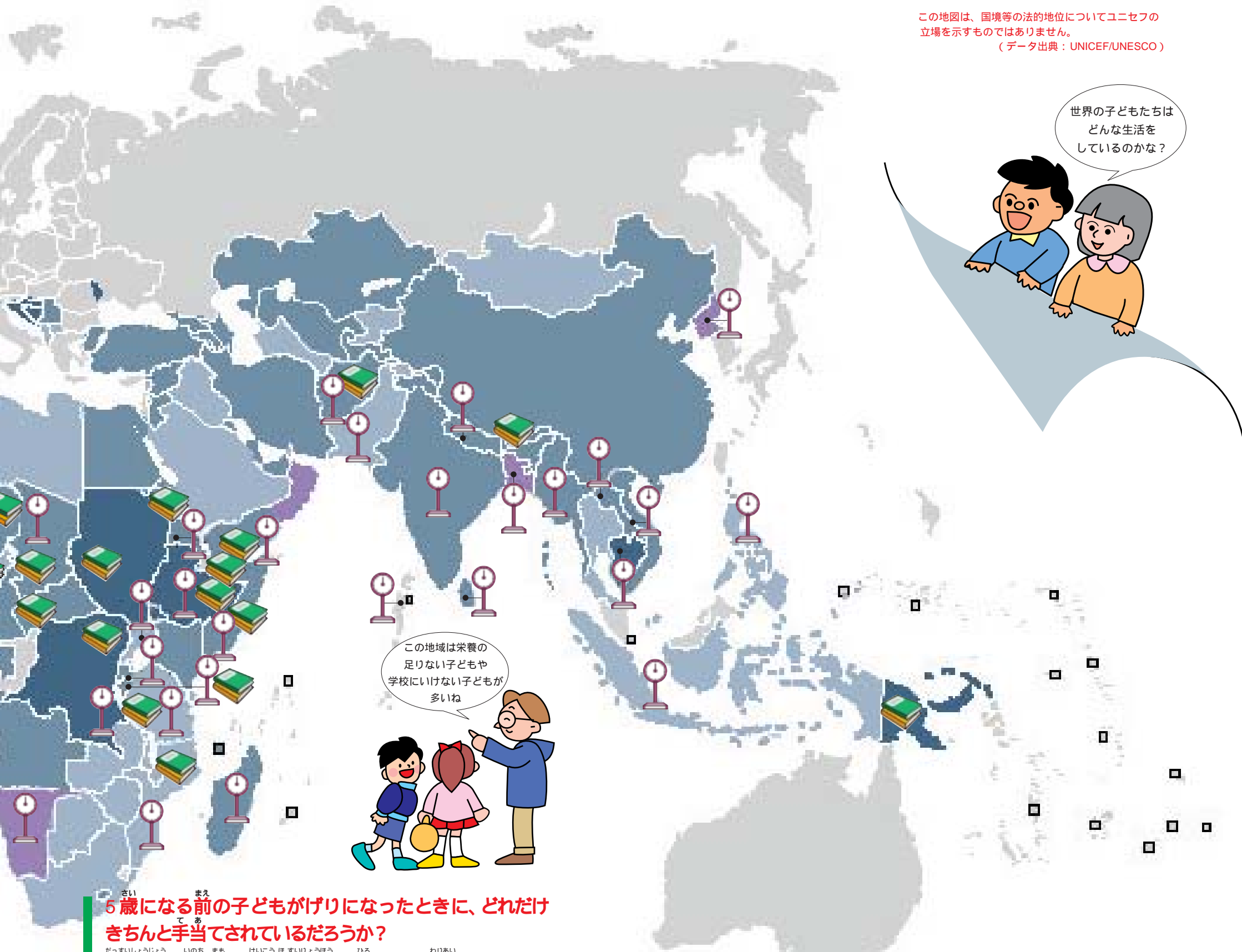
赤ちゃんをうむのは命がけ

10万人の赤ちゃんが生まれるとき、何人のお母さんが命を失っているか(1995年)

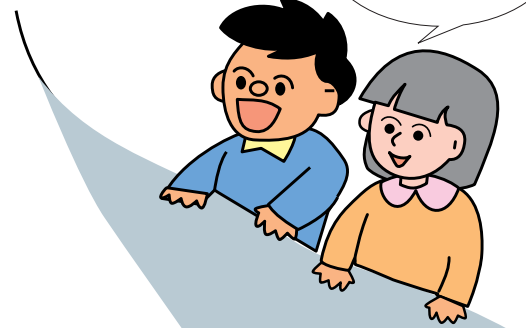


*ちなみに日本では10万人の出生あたり8人です。世界では、毎年515,000人のお母さんが、妊娠中や赤ちゃんをうむときに亡くなっています。そのおよそ半分が、サハラより南のアフリカ地域で起こっています。

この地図は、国境等の法的地位についてユニセフの立場を示すものではありません。
(データ出典：UNICEF/UNESCO)



世界の子どもたちは
どんな生活を
しているのかな？



5歳になる前の子どもがげりになったときに、どれだけきちんと手当てされているだろうか？

脱水症状から命を守る「経口補水療法」が広がっている割合 1995-2000

60パーセント以上の国	20パーセント未満の国
40～59パーセントの国	データなし
20～39パーセントの国	

タンビールが元気になったわけ 経口補水療法



©UNICEF/HQ97-0331/ Shehzad Noorani



「お母さん、それなあに？」ユレカがたずねます。「経口補水塩っていうの。このまえ保健センターの学習会でおそわったのよ。げりをしている子には、これをきれいな水にとかして飲ませると、脱水症状を防いでくれるんですって。だから

今、保健センターでもらってきたのよ」「脱水症状？」「げりで体から水分がいっぱい出ていってしまうと、そうになってしまうの」
こう言いながら、お母さんはタンビールにスプーンでさっきの水を飲ませはじめました。朝ごはんのときには食欲がなかったタンビールも、おいしそうに飲んでます。「あとはあなたにお願いできるかしら？ ゆっくり飲ませてやって」そうユレカに言うとおかあさんは食事のしたくをはじめました。今日のタンビールの夕食は、豆をすりつぶしたものとゆるいおかゆです。ココナッツジュースも飲んでます。
3日後、ユレカの後を追って元気に走り回るタンビールの姿がありました。

経口補水塩は「スポーツドリンクのもと」と同じようなもので、体に対して水分の吸収をよくするはたらきがあります。安全な水を使えないなどの理由から、開発途上国では、げりはよくおこる病気です。食べさせなければげりが止まるのではないかと考えたり、げりのときの水分や栄養のとらせかたを知らなかったりして、その結果、子どもが脱水症状になり、ひどいときには命を失ってしまうことさえあります。
経口補水塩やジュース、おかゆなどで水分や栄養分をおぎなう方法を経口補水療法といえます。 Bangladeshにはこの療法が開発された国際下痢研究所があり、半数以上の人がこの療法を知っています。知識を広めることが、子どもの命を守ることに直接つながっています。